東京学芸大学リポジトリ
Tokyo Gakugei University Repository

2019年度
東京学芸大学附属高校研究活動（研究会・講演会・国際交流活動）一覧

メタデータ	言語: Japanese
	出版者:
	公開日: 2021-03-08
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者:
	メールアドレス:
	所属:
URL	http://hdl.handle.net/2309/152368

東京学芸大学附属高等学校紀要　57　pp. 1 ～ 6，2019

2019 年度　東京学芸大学附属高校
研究活動（研究会・講演会・国際交流活動）一覧

List of academic researches and activities of the school（2019）

1．第18回公開教育研究大会

日時：令和元年11 月23 日（土）

研究主題：

教科等横断的な視点からの教育活動の改善～「学習評価」を軸としたカリキュラム・マネジメント～」

公開授業Ⅰ

国語　SSH 現代文Ⅰ　日渡正行
地歴　地理Ａ　松本至巨
地図についての情報発信
「SSH 現代文Ⅰ」は論理的に発信する力をつけるための学校設定科目であり、探究活動や他の科目につなげることを目指している。今回は「地理Ａ」との連携を意識しながら、地図の読解について発信することを学ぶ。

数学　数学Ｂ　荻原洋介
ベクトルの扱い
～座標からベクトルへ～
2022 年以降は『ベクトル』が数学C に移行する。図形と方程式の知識を用いて、座標からベクトルを視野に入れて、ベクトルの指導の可能性とその教育的意義を考えたい。

理科　物理基礎　櫻井一充
360°カメラ映像教材を利用した授業
360°カメラ映像を教材として導入することで、生徒が映像から発見・判断・分析する活動を授業に取り入れることができる。本授業ではこれを利用し、これから高校物理に臨む生徒たちの興味を惹起する授業を行う。

理科　地学基礎　齋藤洋輔
「野外実習」における主体的・対話的で深い学びの実践
～カリキュラム・マネジメントの視点で捉える評価～
城ヶ島で行われる「野外実習」のまとめの授業として、成果のポスターを活用しながら、城ヶ島の形成史についての議論をより深めていきたい。なお、地学基礎のカリキュラムは「反転授業」にて実施している。

芸術　工芸Ⅰ　神田春菜
工芸の美しさって何だろう？～素材の表情に着目して鑑賞しよう～
美術及び工芸では表現活動と鑑賞活動を相互に関連付け、美術及び工芸における思考力、判断力、表現力等の育成の充実を目指している。公開授業では見立てを軸に素材を生かした表現に着目した鑑賞の授業を行う。

芸術　音楽Ⅰ　居城勝彦
劇音楽の演じ手になろう
音楽では表現と鑑賞の往還を意識した活動を展開している。本活動では「能」と「ミュージカル」を取り上げ、それぞれの成立背景を理解し、それらをもとに演じ手になることを意識して鑑賞や表現に取り組む。

芸術　書道Ⅰ　荒井一浩
鑑賞教育の一層の充実に向けて
古典の書風を捉える手立てとして線質や字形を分析的に考察し、また、比較や類推を通して気付きを誘発していくことを試みる。得られた知識を臨書に生かし、他者と共有するなど鑑賞と表現との往還的な学習を目指す。

外国語　コミュニケーション英語Ⅰ　加藤 淳
新学習指導要領に対応したコミュニケーション英語の授業実践
「学びに向かう力・人間性」「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を、アクティブ・ラーニングを通して涵養する。あらゆる学校で実践可能な教科書を使った４技能５領域を伸ばす授業について、考察を深めたい。

外国語　コミュニケーション英語Ⅰ　豊嶋 維
交替制ペアワークを通したスピーキング活動
スピーキング活動を行う上でペアワークは重要な手法であるが、本授業では各活動ごとにペアを交代していく。活動例は自分の意見を述べるもの、教科書のリテリング、絵の描写などを展開していく。

公開授業Ⅱ

国語　古典Ｂ　　森安惟澄
光源氏と一緒にテツガクしよう～学びに向かう態度の育成と評価～
『源氏物語』「小柴垣のもと」等を素材に「人は何故〈似ているもの〉に惹かれるのか」というテーマを追求する。生徒が先人の考え方を学ぶ中で抱いていく疑問の質を評価の観点とし、人間の本質について考えさせる。

公民　現代社会　楊田龍明
同性婚を考える
「日本は同性婚を認めるべきか。皆で議論したい。【LGBTカップルは生産性がない】という意見もある。私は…」。この生徒からの問いを踏まえて「公共的な空間における人間としての在り方生き方」を考えてみたい。

数学　数学Ⅰ　井上哲明
統計の活用　～推定・仮説検定の考え～
次期指導要領の改訂で統計の扱いが重視される傾向にある。本校では数学Ⅰでデータの分析を学習したことを受け、探究授業の中で検定の考えを学習する。今回、推定や検定の考えを活用して、問題場面を分析する。

理科　化学基礎　成川和久
地理歴史　日本史Ａ　加藤将
人間生活における金属の利用の化学と歴史～教科横断的な視点からの授業の実践～
酸化還元反応を学習する中で金属の反応性について学習する。人間生活での化学の役割における金属の利用を考えると同時に、人間生活と歴史、特に日本史とのつながりに焦点を当てて金属の利用の変遷を関連付けて学ぶ。

理科　生物基礎　大谷康治郎
免疫の授業と生物の階層性
～カリキュラム・マネジメントの視点で捉える評価～
免疫では、個体レベルの事象を中心にしながらも、細胞レベルや抗体などの分子レベルを取扱う。また、健康、医療などの社会的な問題へも大きく関わる。この単元ではどのような資質・能力を育成すべきか検討したい。

理科　地学基礎　田中義洋
地球環境を設計する
本校は2017年度より２期目のSSHに取り組んでいる。２期目の課題の１つとして「工学的な発想を取り入れた教科・科目」の開発に取り組んでいる。今回は、地学基礎におけるその成果を実践した授業を行う。

保健体育　体育　瀧澤政彦
「柔道」受の主体的協力による投げ技の習得
受（投げられる側）は取（投げる側）に対して従属的に協力することが一般的であるが、あえて受側から取の動作に対して主体的に動作を導く対応を行うことで、技の習得に関して受の影響が大きいことを体感させていきたい。

芸術　工芸Ⅰ　神田春菜
工芸の美しさって何だろう？～素材の表情に着目して鑑賞しよう～
（公開授業Ⅰより継続）

芸術　音楽Ⅰ　居城勝彦
劇音楽の演じ手になろう
（公開授業Ⅰより継続）

芸術　書道Ⅰ　荒井一浩
鑑賞教育の一層の充実に向けて
（公開授業Ⅰより継続）

家庭科　家庭基礎　桒原智美
災害を意識した授業を考える
生徒の災害に対する意識を知り、生徒自身が課題を発見し、科学的に考え、協働しながら発信しようと試みる機会を持つ授業をしたい。ワールドカフェ方式などのアクティブな方法を取り入れ、図書館を活用したナッジ授業の展開にする。

外国語　コミュニケーション英語Ⅱ　瀬戸口亜希
Working against the Clock
1）英語で自分を表現することに少しでも自信をつけ、2）より高いレベルに手を伸ばし、3）英語を嫌いにならないことをゴールにした授業づくり。教科書の文章から離れ、学んだことを材料として自分の考えを英語で表現できることを目指す。

研究協議会

国語　国語科
「国語」の視野を広げる　～新教育課程に向けて～
助言講師　渡辺貴裕　東京学芸大学教職大学院教育実践創成講座准教授

公民　楊田龍明
新科目「公共の扉」のひらき方
助言講師　藤原孝章　同志社女子大学現代社会学部特任教授

数学　数学科 数学的な見方・考え方の育成とその評価～新学習指導要領に向けて～ 助言講師　伏屋広隆　青山学院大学社会情報学部社会情報学科准教授
数学　数学科 生徒の数学的活動を促す統計教育のあり方 助言講師　髙橋弘　東京学芸大学自然科学系准教授
理科　地理歴史　成川和久・加藤 将 教科横断的な授業をどう行うか～人間生活と科学技術を結ぶことを考えて～ 助言講師　新免歳靖　東京学芸大学自然科学系 広域自然科学講座　文化財科学分野　講師
理科　理科 「理科カリキュラム・マネジメントと学習評価」について 助言講師　鎌田正裕　東京学芸大学教育学部基礎自然科学講座理科教育学分野　教授
保健体育　瀧澤政彦 中学校武道必修化の功罪 助言講師　齋藤祐一　環太平洋大学　講師
芸術（工芸）　神田春菜 表現と鑑賞の相互の関連による思考力、判断力、表現力等の育成のための学習指導と学習評価の工夫 助言講師　尾澤　勇　秋田公立美術大学美術学部美術学科　教授
芸術（音楽）　居城勝彦 生涯教育を見通したカリキュラム・マネジメント 助言講師　中地雅之　東京学芸大学音楽演劇講座教授
芸術（書道）　荒井一浩 鑑賞教育の一層の充実に向けて ～これまでの授業実践の成果の共有と授業改善の視点～ 文化庁「2019 年度芸術系教科担当教員等関東甲信越地区ブロック研修会」として行われた
家庭科　桒原智美 「災害を意識した生徒の身近な課題」を深める授業について 助言講師　三浦巧也　東京農工大学　准教授
外国語（英語）加藤 淳　豊嶋 維　瀬戸口亜希 新学習指導要領を踏まえた取り組み 助言講師　臼倉美里　東京学芸大学　准教授

講演会

テーマ　「新高等学校学習指導要領実施を見すえたカリキュラム・マネジメントのあり方とその評価」 講師　根津朋実　筑波大学人間系教育学域　教授

後援　東京都教育委員会

2．授業実践研究会

第 3 回授業実践研究会「探究活動」

日時：令和元年 7 月 13 日（土）

内容：探究講座（1 年）授業公開，本校の探究授業の紹介，探究授業についての意見交換会

講師：岡本尚也　一般社団法 Glocal Academy 代表理事

第 4 回授業実践研究会「探究活動」

日時：令和元年 9 月 28 日（土）

内容：探究講座（1 年）授業公開，本校の探究授業の紹介，探究活動のテーマ設定についての意見交換会

講師：川村教一　兵庫県立大学大学院教授

第 5 回授業実践研究会「地理」

日時：令和元年 11 月 19 日（火）

内容：地理Ａ（1 年）授業公開，新学習指導要領実施に向けての意見交換会

提案者：松本至巨　本校地歴公民科教諭

第 6 回授業実践研究会「英語」×第 20 回教員 ITC

日時：令和元年 12 月 8 日（日）

内容：Intensive Training Course，協議会

第 7 回授業実践研究会「公民」

日時：令和 2 年 2 月 27 日（木）

内容：過労死防止啓発授業
「はたらくことのリアルに迫る」
弁護士と生徒のトークセッション

提案者：楊田龍明　本校公民科教諭

3．第 61 回全附連高等学校部会研究大会

日　時：令和元年 10 月 18 日（金）～ 19 日（土）

会　場：筑波大学附属駒場中・高等学校

分科会：国語分科会，数学分科会，図書館分科会，生活指導分科会，附属のあり方分科会

講演者：土井隆義氏（筑波大学人文社会系教授）

分科会発表者：本校関係のみを以下に掲載

＜国語＞浅田孝紀
大学院生の修士論文作成のための通年授業見学
―古典の資質・能力に関する研究に資する院生指導実践中間報告―
＜数学＞大谷晋　野島淳司　田中満城子　佐藤亮太
検定の考え方

＜図書館＞田中義洋
理想の学校図書館をめざして
―東京学芸大学附属高等学校の現状と問題点―
＜生活指導＞大谷康治郎
生徒指導における生徒支援の具体的な取り組み
＜あり方＞宮城政昭　若宮知佐
1 to 1（ひとり1台パソコン）導入に向けて―校内環境の整備とICT活用授業の展開―

4．平成31年度東京学芸大学附属学校現職教員研修講座開講一覧

（全科）「授業公開」
授業期間中随時
（国語）「高校国語科における演劇の鑑賞指導」
令和元年11月20日
（地歴）「地理における野外実習の実際」
令和元年5月31日
東京都心部（旧江戸城外濠跡周辺）
（数学）「数学的活動を促す授業づくり」
令和元年8月30日
（理科）「夏期特別実験講座物理　体験講習会」
令和元年7月9～11日
「夏期特別実験講座化学　体験講習会」
令和元年7月9～11日
「地学科公開研究会　野外観察講座」
令和元年10月30日31日
城ヶ島（神奈川県）
（公開教育研究大会）「第18回公開教育研究大会」
令和元年11月23日
（SSH）「スーパーサイエンスハイスクール事業報告会」
令和2年3月16日

5．東京学芸大学附属学校研究紀要

第47集（令和2年発行予定）
芸術（音楽）　居城勝彦（個人研究）
「高等学校音楽の歌唱表現における理解」－文化的・歴史的背景を意識した授業の展開－
国語　浅田孝紀　（共同研究）
小池麻由香　神奈川県立百合丘高等学校
高等学校の古典の指導における演劇的手法の開発―東京学芸大学研究実習における卒業論文指導の一環として―

6．国際交流来校・派遣

①タイ王国　プリンセス・チュラポーン・サイエンス・ハイスクール・チェンライ校（PCSHSCR）との交流プログラム（来校）
平成31年4月16日（火）～23日（火）
生徒14名　教師3名　タイ王国より受け入れ

②イオン1％クラブ主催　日中ティーンエイジアンバサダー訪日
令和元年7月7日（日）～7月14日（日）　北京第二十中学校　生徒10名　教師1名　交流

③ 8th NICE
令和元年7月29日（月）～8月2日（金）　生徒2名　教師2名　台湾へ派遣

④中国内モンゴル自治区　フフホト第一中学校訪問
令和元年7月31日（水）生徒34名　教師4名　来校

⑤イオン1％クラブ主催　日中ティーンエイジアンバサダー訪中
令和元年10月14日（月）～10月21日（月）　中国北京市へ　生徒10名　教師2名　派遣

⑥中国アイランズ大学視察
令和元年12月2日（月）　教師15名　視察

⑦タイ王国　プリンセス・チュラポーン・サイエンス・ハイスクール・チェンライ校（PCSHSCR）との交流プログラム
令和2年1月14日（火）～21日（火）
本校生徒14名　教師2名　タイ王国へ派遣

7．講演・SSH関係事業および特別授業等

宇宙人文学講座
PCSHSCRとの交流でポスター発表
平成31年4月19日（金）
「宇宙人文学とは何か・宇宙人文学研究(1)～(5)」講義
令和元年5月25日，6月22日，7月13日，9月28日，11月30日，12月13日，令和2年1月25日，2月1日
参加生徒89名
京都大学宇宙ユニットシンポジウム参加
令和2年2月7日（金）～9日（日）

一般財団法人　理数教育研究所（RIMSE）主催
第７回「算数・数学の自由研究」（塩野直道賞）
奨励賞受賞「n 次元空間における三角形の五心」

日本学生科学賞東京都大会
優秀賞受賞「皿状構造の形成過程に関する考察～三浦半島三崎層に見られる皿状構造の事例～」
奨励賞受賞「相模湾北岸の現生有孔虫の分布」
発表生徒３名　参加生徒２名

全国 SSH 生徒研究発表会
令和元年８月７日（火）～９日（木）
「三浦半島・三崎層に見られる皿状構造の粒子配列についての考察」
発表生徒１名　参加生徒２名

SSH 第 11 回マスフェスタ（全国数学生徒研究発表会）
令和元年８月 24 日（土）
「n 次元空間における三角形の五心」
「‘SolarTracker’のための照度と角の関係を表す母関数の決定」
参加生徒２名

日本植物学会第 83 回大会（東北大学）高校生ポスター発表参加
令和元年９月 15 日（日）
「納豆の粘性物質の測定」
参加生徒１名

東北スタディツアー 2019 「震災復興とまちづくり」
令和元年９月 20 日（金）～ 23 日（月）
参加生徒 20 名

日本経済新聞社主催講座
「SDGs で考える。大人になってどんな貢献がしたいですか？」
吉野 彰氏（旭化成（株）名誉フェロー）
令和元年９月 27 日（金）
参加生徒 23 名，保護者１名

ノーベル賞受賞者を囲むフォーラム「次世代へのメッセージ」「世界を変えた発明」
令和元年９月 28 日（土）
参加生徒７名

高校生による MIMS 現象数理学研究発表会
令和元年 10 月 13 日（日）
参加予定生徒１名（台風のため中止）

The 6th Symposium for Women Researchers（東京都立戸山高等学校）
令和元年 11 月３日（日）
参加生徒５名，ポスター発表４件

「ファイトレメディエーション」
令和元年 11 月６日（火）～ 11 月８日（木）
中西史氏（東京学芸大学講師）
参加生徒：生物演習履修者 72 名

「動物の行動の神経メカニズム」
令和元年 11 月 19 日（火）
杉山（矢崎）陽子氏（東京大学国際高等研究所ニューロインテリジェンス国際研究機構主任研究者）
参加生徒：生物 A 履修者 28 名

山形大学特別講義実験および石巻ボランティア
令和元年 11 月 23 日（土）～ 25 日（月）
栗山泰直氏（山形大学教授）
参加者生徒 16 名

マスフォーラム（数学生徒研究交流会）
令和元年 12 月 14 日（土）
口頭発表１件，ポスター発表 11 件，参加生徒 14 名

東京都 SSH 生徒研究発表会
令和元年 12 月 22 日（日）
口頭発表「HCl の電気分解と電池化」
ポスター発表２件　参加生徒２名

京都大学高大接続プログラム
高校生のためのポスターセッション 2019 in 京都大学
令和２年３月 20 日（金）
「平家物語の享受のされ方は前近代においてどのように変化したか」
「衛星データを用いた当麻宿に関する考察」
参加生徒２名

コンピューター利用教育学会 CIEC 春季カンファレンス 2020 ポスター発表会
令和２年３月 21 日（土）

関東近県 SSH 生徒研究発表会
令和２年３月 22 日（日）

留学生授業
２年生の授業に参加し英語でディスカッションを行う
令和元年 ６ 月 24 日，25 日，27 日　留学生 17 名
令和元年 11 月 19 日，21 日，26 日　留学生 13 名
令和２年 １ 月，２月　留学生 15 名程度

7月13日　第４回
授業実践研究会での探究授業公開の様子

11月23日　第18回
公開教育研究大会での授業の様子

９月28日　第５回
授業実践研究会での意見交換会の様子

10月５日　第18回
SSH 探究授業でのポスター発表会の様子

11月23日　第18回
公開教育研究大会での研究協議会の様子

１月14日～21日
タイ王国 PCSHSCR を訪問して大学での授業を受けている